

平成 26 年 第 12 回定例会

岩見沢市教育委員会会議録

平成 26 年 12 月 25 日 開会

平成 26 年 12 月 25 日 閉会

岩見沢市教育委員会

平成26年 第12回定例会
岩見沢市教育委員会会議録
(平成26年12月25日)

○本委員会に付議した議件

- 1 報告第16号 教育長の一般経過報告について
- 2 議案第62号 平成27年度教育委員会関係予算見積りにについて
- 3 議案第63号 平成26年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について

そ の 他

○本委員会に出席した者

委 員 長	武 藏 輝 彦
委 員	秋 山 信 也
委 員	大 橋 弘 道
委 員	佐々木 和 子
教 育 部 長	名 和 田 勉
子育て支援推進担当次長	鈴 木 栄 基
学 校 教 育 課 長	加 藤 信 浩
指 導 室 長	兼 平 晃 成
学 校 給 食 課 長	町 田 隆
生涯学習・文化・スポーツ振興課長	相 河 学
子 ども 課 長	所 美 穂 子
図 書 館 長	勝 田 真 澄
緑陵高等学校事務長	佐 藤 昌 明
事務局学校教育課総務係長	武 田 弘 毅
事務局学校教育課総務係	虎 谷 淳

午後 2 時 0 0 分 開会

○武蔵委員長 それでは、ただ今から平成 26 年第 12 回教育委員会定例会を開催いたします。

本日の署名委員につきましては大橋委員さん、お願いします。

初めに、日程番号 1、報告第 16 号 教育長の一般経過報告について 説明をお願いします。

○名和田教育部長 それでは、私のほうから一般経過報告についてご説明いたします。

教育長が 11 月 13 日に入院したことから、各種行事については、武蔵委員長をはじめ私、鈴木次長、各担当課長により代理出席するなど対応しております。

12 月 8 日、市議会が始まり、12 日から 16 日にかけて一般質問がありました。

大坂議員からは、教育委員会制度の改革について、教職員の超過勤務の認識と対策について、教職員の遠距離通勤者の認識と課題についての質問を受けました。

また、平野議員からは、子どもの成長に不可欠な「遊び環境」の推進について、斉須議員からは少子化対策について、池島議員からは平昌と東京のオリンピック・パラリンピックについて、それぞれ質問がありました。

17 日、総務常任委員会が開催されました。保育所緊急確保事業補助金について、それから緑陵高等学校の人件費関係の補正予算について常任委員会に諮りまして、翌日議決を得ております。

以上であります。

○武蔵委員長 ただ今、教育部長のほうから一般経過報告がありました。

委員の皆さんから、何かご質問ありましたらお願いします。

(「ありません」という声あり)

○武蔵委員長 特にございませんか。

なければ本報告については終了いたします。

続きまして、議案に対する提案理由について、説明を求めます。

○名和田教育部長 議案第 62 号、平成 27 年度教育委員会関係予算見積りについて。

平成 27 年度教育委員会関係予算の見積りについて、意見を求めようとするものであります。

議案第 63 号、平成 26 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について。

北海道教育委員会から依頼がありました、平成 26 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について、ご審議を願うものであります。

以上です。

○武蔵委員長 それでは、日程番号 2、議案第 62 号 平成 27 年度教育委員会関係予算見積りについて を審議いたします。説明をお願いいたします。

○名和田教育部長 先ほど配布させていただいた歳入歳出予算の資料をご覧ください。

平成27年度一般会計予算の要求ベースについて、ご説明いたします。

一番左側を見ていただきたいのですが、歳入444億1,600万円、歳出476億5,400万円であり、差引き32億3,800万円の財源が足りないということになっております。

財源不足を解消するためには、歳出を減らすか、基金を取り崩すか、起債を借り入れるということが必要になります。

ここで、資料2-4をご覧ください。

平成27年度の教育委員会関係予算は要求ベースで、事業費60億8,800万円で、昨年度の57億3,200万円と比較しますと、3億5,600万円の増、一般財源ベースでは5億2,700万円の増ということでございます。

このあと各担当課長からご説明させていただきますが、増額となった主な理由としましては、子育て支援拠点整備事業といたしまして、ここ、であえーる3階、4階の改修費等で4億800万円、北村トレーニングセンター屋根改修工事で4,100万円、高等学校費繰出金5,400万円などによるものです。

今後、年明けに財政課及び市長とのヒアリングを経て、事業査定が行われます。

それでは各担当課長より、平成27年度の新規・主要事業等のご説明をいたします。

○加藤学校教育課長 それでは、私のほうから学校教育課が所管する部分につきましてご説明をいたします。

資料1-1から1-2までが学校教育課の事業になります。そして、少しページが飛びますが、資料2-1を開いてください。平成26年度予算額との比較がございましたので、あわせてご覧いただければと思います。

初めに、教育情報システム化推進事業でございます。

ICTを活用した教育用コンテンツの充実や、情報活用研修、テレビ会議システム等々の経費を計上しております。平成27年度につきましては、859万円を見積もっているところでございます。

続きまして、教育用コンピュータ整備事業でございます。

5,404万8,000円、小中学校の内訳はそれぞれ記載のとおりでございます。平成27年度の小学校のパソコンの更新につきましては、南小、志文小、幌向小、東小、第二小、メープル小の216台を予定してございます。その他の経費については継続のパソコンのリース等によるものでございます。

続きまして、教職員住宅管理事業でございます。

現在、教職員住宅につきましては、60戸の維持管理、補修を行っているところでございます。また、継続して解体を計画しております。

平成27年度につきましては、3棟の解体を計画しております。日の出小学校の校長住宅、緑中学校の教頭住宅、東小学校の校長住宅を計画しておりますが、昨年度は財源の関

係で解体が見送られたところもございます。

毎年2棟ずつということで、計画しておりますが、今年は昨年度先送りとなった1棟も含めまして3棟分を計上しております。

続きまして、校舎等管理事業でございます。

2億3,532万6,000円を計上しております。小学校15校、中学校10校の学校施設整備にかかるそれぞれ維持管理及び修繕等の経費でございます。

主なものといたしましては、資料2-1を見ていただきたいと思います。小学校校舎等管理事業でございますが、平成26年度との比較で4,757万円の増となっております。こちらにつきましては、校舎のグラウンド整備を昨年は第一小で、平成27年度は志文小で行いますが、グラウンドの面積が違うことにより、4,700万円の増となったところでございます。

続きまして、学校プール管理事業でございます。

こちらは、小学校7校のプールの施設整備管理を行うための経費でございます。835万1,000円であります。毎年、継続的に小学校のプールシートを取り替えております。平成27年度につきましては、830万円の経費のうち168万5,000円が、北真小学校のプールシート取替えの経費となっております。

続きまして、小学校校舎等耐震化事業でございます。

7億7,853万8,000円の計上でございます。今年度、耐震診断調査等を行っており、その耐震診断調査に基づきまして、南小学校、東小学校、幌向小学校の3校の耐震化等の工事を行うものでございます。

続きまして、学校管理事業でございます。

トータルで4億9,159万6,000円でございます。小中学校の内訳をご覧くださいと思います。

この中で、一番上の学校管理支援地理情報システムの整備、662万1,000円とございます。こちらは新規事業でございます。現在、校区の見直し作業等をする際には、住民基本台帳をもとに自分たちの手作業で児童生徒数等の集計をしておりますが、今後は、このシステムを導入いたしまして、数十年後までの児童生徒の推計をして、その学校が維持できるのかどうか、隣の学校と統合した場合に、どれくらいの規模になるのかということを整理するため、計上しております。学校管理事業の目玉事業と考えております。

次に、教科書改訂による指導書等の整備につきましては、今回小学校の教科書が改定になりましたので、指導書につきましても多くなっているということでございます。

最後に、学校給食共同調理所車両運行管理事業でございます。

スクールバス事業が今年度より学校給食課から、学校教育課に移管されました。スクールバスの中型車1台の購入の予算を計上いたします。今のところ事業名称は財政課と打ち合わせしてこのままとしていますが、予算が付いた暁には、この事業名称も変更になるかと思っております。1,784万5,000円を予定しております。運行管理委託を含め事業

費合計は8, 838万円となっているところでございます。

以上でございます

○武蔵委員長 ひと通りご説明願います。

○兼平指導室長 それでは、指導室についてご説明をさせていただきます。

初めに、児童見守りシステム推進事業でございます。

児童の登下校時の情報などを、保護者にメール配信するなど、安全安心確保のための事業です。システム管理のための費用と、ICタグ購入費などになっております。

次に、みらい広がる学校活動支援事業でございます。

各学校が企画立案する事業を支援し、学校支援ボランティアを各校に派遣するために、1, 630万円計上しております。

続きまして、特別支援教育推進事業でございます。

障がいを持つ児童生徒の増加や、通常学級に在籍する発達障がいの児童生徒に対する支援が求められていることから、来年度も特別支援教育支援員2名を増員して、25名の配置体制での推進を計画いたしました。

次に、教育指導振興事業でございます。

来年度はいじめ防止基本方針の制定を予定しておりまして、法律に基づいて従来のいじめ問題学校支援委員会を改組して、新たに2つの組織を立ち上げ運営する経費などを計上しております。加えて、中学校用教科書の選択年度のため、教科用図書調査委員会の経費などを計上しております。

続きまして、外国語指導助手活用事業でございます。

外国語指導助手ALTを現在9名配置しておりますが、今年度はそのうち2名が7月から8月にかけて入れ替わりました。来年度は3名程度の入れ替わりが予想され、その費用もあわせて計上しております。

次に、教育支援センター事業です。

従来の教育相談事業と登校支援ステップアップ事業を統合し、より広く子ども、保護者、学校に教育的支援を行うことを目的としております。

学校心理士をコーディネーターとして、相談の窓口、それから他機関とのパイプ役とし、必要に応じて教育相談のスタッフや適応指導教室から登校支援室へと改称を予定している登校支援室が支援していくという体制をとります。

学校心理士を専門職として待遇すること、それからまた、家庭の状況が複雑化する現状から重要度が増している、スクールソーシャルワーカーの勤務日数増を予算要求しております。

最後に、教育研究所運営事業です。

岩見沢市立教育研究所は、新研究所になって今年で7年目を迎えることとなります。大学との連携の拠点として、機能の強化を図っておりますが、予算的には現状維持ということで計上しております。

以上でございます。

○町田学校給食課長 学校給食課の予算内容につきましてご説明いたします。

資料1-4をご覧いただきたいと思います。

まず初めに、学校給食共同調理所運営事業でございます。

この事業は、市内小中学校25校に、年間190食を基準といたしまして給食を提供するものでございます。

主な内容といたしましては、新たに食物アレルギー対応及び食育推進のための栄養士、また、学校給食費徴収強化のため、徴収専門員をそれぞれ1名、188万4,000円ずつ計上しております。

また、学校給食で出る野菜くずや食べ残しなどの残渣を、たい肥化するための生ごみ処理手数料といたしまして、461万5,000円計上したほか、岩見沢共同調理所の調理等業務の委託費として、8,569万2,000円を計上したところでございます。

次に、学校給食共同調理所建設事業でございます。

これは今回新たな事務事業として立ち上げたものでございます。

安全安心で子どもたちに喜ばれる学校給食を目指し、新学校給食共同調理所建設に向けて、基本・実施設計業務委託料等を計上したところでございます。

次に、学校給食共同調理所車両運行管理事業でございます。

この事業は、調理所から各学校に給食を配送する車両の運行事業でございまして、業務委託料といたしまして、2,246万4,000円を計上しております。

以上でございます。

○相河生涯学習・文化・スポーツ振興課長 続きまして、生涯学習・文化・スポーツ振興課の予算につきまして、ご説明をいたします。

まず初めに、市民の学び支援事業でございますが、子どもから高齢者までの全世代に向けた学習事業を展開してまいります。

具体的には、いわなびチャレンジスクール、いわみざわ市民大学、高齢者大学等の開催でございます。生涯学習センターを学びの拠点として、利用の促進を図るとともに、引き続き教育大学とも連携した企画を検討してまいります。予算といたしましては、984万8,000円を計上しております。

次に、岩見沢郷土科学館管理事業でございます。

事業費2,526万円を計上しています。引き続き、科学、創作、天文、自然観察に関する学習機会の提供を図ってまいりますとともに、岩見沢、北村、栗沢3地域の郷土資料の台帳統合等の整理を行ってまいります。

また平成27年度は、老朽化が著しい北村農業資料館の将来の閉館を念頭におきまして、一部資料の移転方法、内容等について検討してまいります。

次に、生涯学習センター管理事業でございます。

施設管理委託料につきましては、今年度と同額を見積もっております。また、電気料の

値上げに伴いまして、光熱水費が330万円ほど増額となっております。

次に、文化施設管理事業でございます。

市民会館・文化センター、栗沢文化センター及び野外音楽堂の3つの文化施設管理事業費の合計で、1億3,553万7,000円を見積もっております。内訳は、指定管理委託料で1億2,656万円、その他修繕料等となっております。

次に、文化のまちづくり事業でございます。

こちらの事業は補助金として1,500万円を見積もっておりますが、野外音楽堂「キタオン」や市民会館・文化センター「まなみーる」などにおきまして、ロックやクラシックなどの音楽や舞台など多彩なジャンルで優れた芸術・文化の鑑賞機会を提供してまいります。

また、伝統文化の振興に寄与する事業や、岩見沢・北村・栗沢各地区で実施する文化事業を必須事業として補助いたします。

続きまして、健康・スポーツ振興事業でございます。

1,177万3,000円を計上しております。こちらの事業は、市民歩け歩け大会やウォーキングマラソン大会など、歩く健康づくりをはじめとする事業や、子どもの体力向上、またスポーツに親しむきっかけ作りとして、小学校低学年を対象とした「楽しいキッズスポーツ教室」の開催にかかる予算を見積もっております。

また新たな事業として、ハーフマラソン大会の開催に向けた検討協議を進めてまいります。具体的には、平成28年度の大会開催を目指しまして、来年度は実行委員会の立上げや、コース設定等にかかる関係機関との調整協議等を行う予定でございます。調査旅費や実行委員会に対します補助金として100万円を見積もっております。

次に、体育施設管理事業でございます。

北村野球場などの直営施設の管理運営にかかる事業と、スポーツセンターなど指定管理により施設の管理運営を行っている事業のあわせて8事業の予算要望額の合計で、2億7,489万9,000円を見積もっており、内訳といたしましては、指定管理委託料で2億820万2,000円、その他修繕料等となっております。

施設の修繕につきましては、各施設の現況調査を実施するとともに、指定管理者との協議、さらには体育協会の要望を踏まえまして、安全性や機能停止時の影響などを考慮し、緊急性の高いものを優先に年次計画により整備を実施しております。

来年度、施設修繕を予定しております主なものにつきましては、資料1-5の〔1〕施設整備関係として記載をしており、費用の大きなものとしたしましては、市民会館大ホールの照明卓設備機器の取替え修繕として、369万4,000円、総合体育館のバスケットゴール購入として、930万6,000円、北村トレーニングセンターの屋根改修工事として4,154万8,000円を見積もっているところでございます。

次に、社会教育施設整備事業でございます。

現在企画室で策定作業を進めております、公共施設等総合管理計画との整合性を図りな

がら、社会教育施設の統廃合等の整備計画策定作業を進めていきますとともに、平成27年度で指定期間が満了いたします野外音楽堂、東山公園の陸上競技場、庭球場、弓道場と岡山スポーツフィールドの5施設、2枠組みの更新作業を行ってまいります。

当課につきましては以上でございます。

○所子ども課長 子ども課の主要事業についてご説明申し上げます。

初めに、児童療育事業でございます。障がいの早期発見、早期療育を目指し、発達の遅れなど、障がい福祉サービスの対象とならないお子さんやその家族の支援の予算として、504万4,000円を見積もっております。

次に、産前・産後ヘルパー事業でございます。

産前・産後の子育て家庭の負担軽減のため、平成25年度から実施している事業です。平成27年度も引き続き、委託料として480万円、その他嘱託職員の人件費を含め674万8,000円を見積もっております。

次に、子ども・子育て支援事業でございます。

平成26年度までは、次世代育成支援事業として実施してきた事業です。現在策定中の、子ども・子育てプランに基づき、子どもと子育て中の保護者などの支援を継続して実施いたします。

新しく、保護者の入院や出張等に際し、宿泊を伴ってお子さんをお預かりするショートステイや子育ての支援を受けたい人と支援したい人が登録して助け合う、ファミリーサポート事業を支援するため、支援会員の育成を図り、子ども・子育ての充実を図っていききたいと考えています。事業費は2,704万8,000円を見積もっております。

次に、子育て支援拠点整備事業でございます。

であえーる岩見沢を子育ての拠点とするため、新たに乳幼児健診等の母子保健事業を集約するとともに、1年を通じて思いきり遊べる屋内型遊び場の整備改修を行います。

教育委員会は、4階に移転する形となる予定です。整備にかかる経費として約4億5,000万円を見積もっております。

次に、児童厚生施設運営事業でございます。

児童館の運営費用と、美園児童館耐震改修実施設計の費用合わせ、7,485万円を見積もっております。美園小学校の放課後児童は、現在、美園児童館と美園小学校放課後児童クラブに分かれていますが、小学校3年生までは、全て児童館で受入れ出来るよう、若干ではありますが現在よりも広い施設として見積もる予定でございます。

次に、青少年対策事業でございます。

補導活動や環境浄化モニターによる巡回を行うための経費として、1,114万9,000円の予算を見積もっております。平成27年度には、青少年センターが補導活動の際に使う車両の購入の経費もあわせて見積もっております。

次に、留守家庭児童対策事業でございます。

仕事を持つ保護者などの支援、並びに放課後児童の健全育成のため、児童館を中心に1

5か所で放課後児童クラブを運営いたします。

また、有料で運営する民間放課後児童クラブに対し、国の補助基準に基づき運営補助を行いません。子ども・子育て支援新制度に伴い、1クラブあたり指導員を2名配置することとなったため、15か所に1名ずつ15名の指導員を追加配置する予定として、昨年よりも約2,000万円増の6,845万7,000円を見積もりました。

次に、保育所入所運営事業でございます。

児童福祉法に基づき、保育を必要とする児童のため、認可保育所への入所に関する費用の負担を行う予算といたしまして、12億7,621万8,000円を見積もっております。平成27年度については、みその保育園から老朽化に伴う改築の要望があり、約1億円の建築補助を見積もっておりますが、今年度の東保育園同様、道の補助が確定したうえでの予算措置として、当初予算から補正予算へと見送られる可能性も含んでおります。

次に、病児・病後児保育運営事業、新規事業でございます。

病児保育を市立病院院内保育園に併設する施設で、病後児保育を東保育園に併設する施設で実施するため、現在施設の整備を進めており、4月から事業を開始するため、1,909万2,000円を見積もりました。

次に、栗沢地域子育て施設等整備事業、新規事業でございます。

現在、すみれ幼稚園、栗沢文化センターを含めた、栗沢町南本町地区の施設整備について、基本構想を策定しておりますが、構想に基づき基本設計並びに実施設計を行うための経費、1,226万3,000円を見積もりました。

最後に、幼稚園就園特例奨励事業でございます。

子ども・子育て支援新制度の就学前の幼児教育と保育を一体的に行うという主旨に基づき、今年度より学校教育課から引き継いだ事業です。

保育料の第3子以降無料化と同様、18歳未満の子から数えて、第3子目以降の園児に係る入園料及び保育料を助成するもので、856万円を見積もりました。

○勝田図書館長 それでは、図書館に関する説明をさせていただきます。

初めに、図書館活動運営事業についてでございます。

平成13年9月に開館しまして、すでに13年を経過した図書館でございますが、地域の知の拠点施設として、快適で安心してご利用いただけるよう、施設の計画的な整備を図ってまいりたいと考えております。

主な内容でございますが、年次計画の2年目となります、空調設備の冷却塔の取替え修繕に伴う費用といたしまして243万円。経年劣化に伴います図書館1階天井照明機器の全面取替え修繕といたしまして、250万6,000円を見積もっているところでございます。

次に、ブックスタート事業でございます。

3年目を迎える本事業でございますが、本を通した親子の触れ合いはもとより、乳幼児期から本と親しみ、親子での読書習慣、家族そろっての読書習慣の流れをつくる大きな役

割を果たしているところでございます。

188万4,000円の予算を計上しているところでございますが、橋本育英福祉基金を財源といたしまして、赤ちゃんと保護者650組を対象に、ブックスタート・パックを贈り、成長段階に応じたフォローアップ事業の充実を図ってまいりたいと考えているところでございます。

以上でございます。

○佐藤緑陵高等学校事務長 私のほうから、緑陵高等学校の事業について説明させていただきます。

学校管理事業でございますが、学校経営組織の適切な運営、また施設整備の効率的な管理、生徒の学力向上とキャリア教育の充実を図ります。

また、駒澤高校跡地の野球グラウンド及び室内練習場の施設整備をし、効率的な管理に努めてまいります。

次に、教材教具整備事業でございますが、特色ある教育活動を実施するため、必要な教材教具を整備したいと思っております。

次に、特別会計の高等学校費について説明させていただきます。

平成27年度の歳出予算の総額は、6億2,773万7,000円となり、平成26年度と比較いたしまして、5,772万7,000円の増額であります。その主な理由といたしましては、駒澤高校跡地の野球グラウンド、室内練習場の施設整備による工事請負費等の増額によるものでございます。

以上でございます。

○武蔵委員長 はい。ただ今平成27年度の予算見積りについて各課より説明がありました。まず、課ごとに質問、意見などを伺って、最後に全体を通してのご意見等を伺いたいと思います。

初めに、学校教育課について、何かございますか。

特にないですか。

小学校校舎等耐震化事業についてですが、3校一度に耐震化を行うということですか。

○加藤学校教育課長 平成27年度に3校同時に行う見積りにしております。

○武蔵委員長 はい、分かりました。

○大橋委員 学校教育課だけではなくて、全体に関わることになるのかと思いますがよろしいでしょうか。大変財政状況が厳しいとは聞いておりますが、教育関係予算のこの見積りが、岩見沢市の子どもたちの学力向上や体力向上等のために一層反映されるように、要望していただきたいと思っております。

特に学校教育課の教育情報システム化推進事業に関連して、私は、学校視察の時や公開授業等で授業を拝見すると、ICTを活用した授業が年々充実してきているという印象を受けます。

こうした取組は学力向上の成果に繋がっていくと思っておりますので、財政が厳しいことは理

解しておりますが、財政課へ強く要望していただきたいと思います。

このことは教職員の資質向上にも関連し、指導力向上に役立っていると思いますので、力点を置いていただければという要望でございます。よろしく申し上げます。

○武蔵委員長 はい、ご意見をいただきました。

他に、ございませんか。

それでは、指導室の関係で何かございますか。

○佐々木委員 教育支援センター事業について、主旨は理解できましたが、この教育支援コーディネーターとは、どのようなものですか。スクールカウンセラーの仕事も兼ね備えているような方なのでしょうか。

○兼平指導室長 具体的には、学校心理士を考えています。

学校の様子もしっかり把握していて、しかも乙種ですがスクールカウンセラーの資格も持っています。学校心理士を相談の窓口として1本化いたしまして、この者がまず相談を受けて、ニーズに応じてスクールカウンセラーなり、登校支援室に繋げていく、そういう形を考えています。実際のところ、現時点でもこの取組は機能しているのですが、しっかりと形を整えて、相談する側がどこに相談すればよいかをはっきりさせるということになります。

○佐々木委員 はい、分かりました。

○武蔵委員長 きちんと体制をオープンにするということになりますね。

他にいかがでしょうか。

それでは学校給食課についてお願いします。

○秋山委員 学校給食共同調理所建設事業の関係ですが、場所は駒澤高校跡地と考えているのか、それともそういった考えはなしに設計するのかお聞かせください。

○町田学校給食課長 土地につきましてはまだ確定しておりません。ですから、どのような土地でも事業が進められるよう、予算要求させていただいております。

○武蔵委員長 そういうことです。よろしいですか。

○秋山委員 はい。

○武蔵委員長 学校給食課については以上でよろしいでしょうか。

生涯学習・文化・スポーツ振興課の関係について、何かありましたらお願いします。

○大橋委員 健康・スポーツ振興事業の中で、近い将来ハーフマラソン大会の開催を検討しているとの説明がありましたが、もう少し具体的な説明をお願いできればと思います。市民を対象とする大会とするのか、もう少し幅を広げ行うのか、あるいは、およそ市内のどの辺りを大会会場と考えているのかなど、現時点での予定についてで構いません。

○相河生涯学習・文化・スポーツ振興課長 現段階では、担当レベルで内容を詰めているところなのですが、今のところ、市民及び、道内の方々を対象といたしまして、おおむね1,000人規模ぐらいの大会にしたいと考えています。

コースにつきましては、マラソンですから、公道を占用した中でのコース設定を考えて

います。具体的なコースとしましては、今、何パターンか考えているのですが、スタート・ゴールをいわみざわ公園といたしまして、こちらから教育大学のほうに向かいながら、宝水ワイナリーを通過して帰ってくるコースと、栗沢の工業団地のほうに向かっていくコースなどの案を検討しているところでございます。

○大橋委員 はい、ありがとうございました。

○武蔵委員長 ハーフマラソンだと公式大会ということにもできると思うのですが、公式記録を取るぐらいのところまで考えているのでしょうか。

○相河生涯学習・文化・スポーツ振興課長 コースの公認を取るか取らないかは、現段階では明確には決めていません。

詳細については実行委員会を立ち上げ、考えていくことにはなると思いますが、他市の状況を見ますと、必ずしも公認を取っているわけでもないようであります。ただ、記録については必ず提出をして、参加者、選手の皆さんにタイムがわかるようにはどこの大会でもしていますので、そういった対応を考えています。

○武蔵委員長 はい、スポーツとしても、まちづくりとしてもいろいろと捉え方があるのかと思いますけど、成功させていただきたいなと思います。

よろしいですか。

続いて、子ども課についてお願いします。

○秋山委員 栗沢地域子育て施設等整備事業について、すみれ幼稚園は公設、保育園は私立であります。それらの関連性をどのように考えていくのか教えてほしい。

○所子ども課長 現在栗沢地域には、公設の幼稚園と民営の認可外保育園がありますが、保育ニーズのほうが高いというのが最近の傾向です。ただ、栗沢地域の限られた子ども数ということになりますので、保育園と幼稚園を一体化運営できるような方向で幼稚園・保育園双方の関係者と協議を進めているところでございます。

○武蔵委員長 よろしいですか。

○秋山委員 はい。

○大橋委員 留守家庭児童対策事業の中で、開設時間を拡大し、となっておりますが、これは今年度と比べ具体的にどのような形になるのか教えていただければと思います。

○所子ども課長 現在は、平日学校がある期間であれば、放課後から午後6時まで開設していますが、就学前の保育園が7時まで預かっているということで、1時間の違いがあります。その部分、午後6時から7時までの1時間を延長しようと考えています。

○大橋委員 はい、分かりました。

○武蔵委員長 他にございませんか。

それでは、図書館についていかがでしょうか。

特にないですか。

(「ありません」という声あり)

○武蔵委員長 では、緑陵高等学校についてお願いします。何かございませんか。

(「ありません」という声あり)

○武蔵委員長 全体を通してご意見があれば伺いたいと思います。

今日、市の別の会議にも出席いたしました。そこでも人口減をどう食い止めるかなど
の話がありました。やはり教育委員会としては、子ども・子育て支援というものには取り
組んでいく必要がございますし、学校教育においても、魅力のある教育がしっかりなされ
るということは、まちづくりを進めていくうえで必要だと思います。

大橋委員さんも最初に言われたように、各分野で教育委員会に対してお金もかけていた
だきながら、その成果をしっかりと出していくという岩見沢市の教育を構築していただき、
予算はこれから削られてしまう部分もあるかもしれませんが、できるだけ説明義務を果た
し、予算確保に努めていただければありがたいと思います。

○名和田教育部長 市長は、岩見沢市の少子化対策について3つ挙げています。

雇用対策、子ども・子育て、それから学力の向上です。教育委員会はこの3つのうち2
つに該当しますので、何とか市長ヒアリング等でその点は強調しながら、予算獲得に向け
て頑張っていきたいと思います。

○武蔵委員長 はい、ありがとうございます。

議案第62号について、このように取り進めていただくことでよろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

○武蔵委員長 はい、それでは、議案第62号につきましては、提案のとおり決定いたし
ます。

続きまして、日程番号3、議案第63号 平成26年度全国体力・運動能力、運動習慣
等調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について を審議いたします。

説明をお願いいたします。

○兼平指導室長 議案第63号 平成26年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北
海道版結果報告」への市町村別結果の掲載について、ご説明いたします。

議案の2枚目でございます、12月1日付け北海道教育委員会教育長名の文書で、平成
26年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果
の掲載について照会がありました。

これは、同調査の今年度の実施要領で、教育委員会や学校が保護者や地域住民に対して
説明責任を果たすことが重要であると明記されるとともに、都道府県教育委員会は、域内
の市町村の同意を得た場合には、当該市町村または、当該教育委員会が設置管理する学校
名を明らかにした公表を行うことができるとされたことを受け、北海道教育委員会として
実施要領に基づき、一層きめ細かくわかりやすい調査結果を示すという観点から、市町村
教育委員会の同意を前提として、2月を目途に公表予定をしている、同調査の「北海道版
結果報告書」に市町村の結果を公表することを決定し、岩見沢市教育委員会に対しても、
岩見沢市の結果公表について同意を求めてきたものであります。

なお、道教委は、学校別の結果は明らかにすることはないという考えを示しております。

今年度の岩見沢市の調査結果につきましては、現在教育研究所にて詳細な分析を行っており、終わり次第、改善策も含めまして道教委の結果報告書の公表前までには、教育委員会にお諮りをして、教育委員会ホームページに掲載する形で、市民に向け公表したいと考えております。

議案の3枚目に同意回答書がございます。

さらに、次のページから資料といたしまして、同調査の実施要領を掲載しております。

ご審議をお願いいたします。

○武蔵委員長 はい、ただ今議案第63号についての説明がございました。

委員の皆様から、ご意見をいただきたいと思っております。

○大橋委員 本年ありました学力・学習状況調査の公表の考え方と同じようにとらえてよろしいのか確認したいと思います。市町村別の序列化を目的とするものではなく、学校別の公表も行わないということですが、岩見沢市の実態について、岩見沢市民・保護者に説明して、いかに子どもたちの体力、運動能力等の向上につなげるか、その改善策に資するものということを受けてとめてよろしいということであれば、私は、学力・学習状況調査を公表した時と同じように、今回の要望に応じてよいと考えております。

○兼平指導室長 はい、主旨につきましては、学力の結果の公表についてと同様であると受け止めております。

○大橋委員 そういうことであれば、私としては同意することによってよろしいと思っております。

○武蔵委員長 他にございませんか。

○秋山委員 学力もそうですが、数値により体力の実態が明らかとなりますが、市としてこれが公表されることで、改善に向けて頑張れるということになるのであれば、同意してもよろしいかと思っております。

また、学校別の結果が公表されるわけではないので、そういう意味では、教育委員会としてより良い指導ができれば、市民の皆様にも理解いただけるものと思っております。

○佐々木委員 公表される内容としては、市のホームページに掲載されているもの以上にはならないと考えてよろしいでしょうか。だとすれば、実施要領に細かく例がありますが、その通りに扱っていただければ問題はないと思っております。

○武蔵委員長 はい、委員皆さんの意見としては、公表自体が序列化につながるようなことはやめていただきたいということ、また、結果の公表により何らかの改善策を講じていただくことを見据え、結果を掲載することについて、同意することは問題ないということによってよろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

○武蔵委員長 それでは、議案第63号につきましては、そのように決定させていただきます。

続きまして、その他に移ります。

委員の皆さんから何かございませんか。

(「なし」という声あり)

○武蔵委員長 なければ事務局のほうで、何かお持ちの方いらっしゃいますか。

○相河生涯学習・文化・スポーツ振興課長 行事のお知らせでございます。年明け1月、平成27年の成人の日記念式典がございます。

日時につきましては、1月11日日曜日、午後4時から、会場はイベントホール赤レンガとなっております。今年の新成人につきましては、765名が対象となっております。

委員の皆さんにおかれましては、ご都合がよろしければ、出席のほうをよろしく願いいたします。

以上でございます。

○武蔵委員長 はい、成人の日記念式典についてのご案内でした。よろしく申し上げます。

他にお持ちの方いらっしゃいますか。

なければ、来月の定例会の日程についてです。第3火曜日は1月20日になりますがよろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

○武蔵委員長 それでは、1月定例会につきましては、1月20日火曜日、時間については午後2時からとさせていただきます。

他にないようでしたら、これで終わりたいと思います。

それでは以上をもちまして、第12回教育委員会定例会を終了させていただきます。

ご苦労さまでした。

午後3時04分 閉会

岩見沢市教育委員会会議規則第16条の規定により、ここに署名する。

署名委員